

## ウラジオストクの観光地

国際文化学科 小野寺風音

私は、9月8日から12月29日にかけて、ウラジオストク国立経済サービス大学へ留学してきました。留学した先のウラジオストクでは、日本ではすることのできない貴重な体験をたくさんしました。ウラジオストクの街並みは、ザ・ヨーロッパという感じでしたが、地理的に日本に近いこともあり、街を走る車は日本製のものが多かったです。ヨーロッパとアジア両方の雰囲気をもつ不思議な街、というのが率直な印象でした。そんなウラジオストクに、私はだんだん心惹かれていき、いつしかもうすこしここに暮らしていたいと思うようになりました。そう思うようになった理由のひとつに、訪れた場所、観光した所が私にとってとても新鮮で、刺激のあるものだったことが挙げられます。そこで、皆さんにも素敵な街であるウラジオストクについて少しでも知ってもらいたいので、ここでは、観光というところにフォーカスをおき、紹介していきたいと思います。

まず、私たちは、ロシア人の学生に連れられて、鷹の巣展望台というところに行きました。そこはウラジオストクの中で1番の観光名所で、この展望台からは黄金橋とよばれる橋や、海、軍艦や客船などを見ることができます。その眺めはとても綺麗で、昼はヨーロッパ風の街並みを見ることができ、夜になると、橋がライトアップされ、昼夜どちらにもそれぞれの良さがあります。さらに、そこにはキрил文字をつくったキリルとメフオージーの銅像もあり、写真の撮影スポットでもあります。そして、展望台のすぐ近くにお土産屋さんもあるので、そこでさらにウラジオストクを感じることができました。



また、授業で先生が教えてくれたボタニーチェスキーサッドという庭園も、きれいで心に残っている観光地のひとつです。とても大きくて植物園のようなところでした。先生曰く、

秋が最もきれいだというので、私は秋に行きました。入ってみると本当にきれいで、一面黄、橙、赤の世界が広がっていました。少し肌寒かったですが、充分満足することができました。春もきれいだと聞いたので、春も庭園も見てみたいと思いました。



また、私たちは劇場にも行きました。この劇場で『火の鳥』や、『白鳥の湖』、『くるみ割り人形』などたくさんの演劇を見ました。日本では少し敷居が高いといわれるバレエやオペラですが、ウラジオストクだと、1,000ルーブル（約1800円）ほどでステージに近い席で見ることができます。私は初めて生でオペラ、バレエを見、美しい演奏と大胆かつ繊細な演技に心動かされ、終始鳥肌が立っていたのを覚えています。

この他にもウラジオストクにはたくさんの観光地があります。私も留学は約4か月と、とても短い期間だったので、行きたくても行けなかった場所や、まだ知らない所が多くあると思います。出来ることならもう一度ウラジオストクを訪れたいです。